

株主のみなさまへ

第23期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社トランスジェニック

証券コード 2342

ご挨拶



代表取締役社長 福永 健司

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第23期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。当社は、「未来に資するとともに、世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」ことを目指しております。

この経営理念を実現するために、グループでは基礎・探索研究から、非臨床、臨床及び診断・解析まで網羅したサービスを行う創薬支援事業を展開するとともに、グループの収益基盤強化を目的として事業承継・再生事業分野を対象とした投資・コンサルティングを展開するTGBS事業を営んでおります。

事業の状況としましては、下記「業績概要」に記載のとおりに進捗しており、下半期も先般公表しました2021年3月期業績予想を達成させるべく取り組んでまいります。

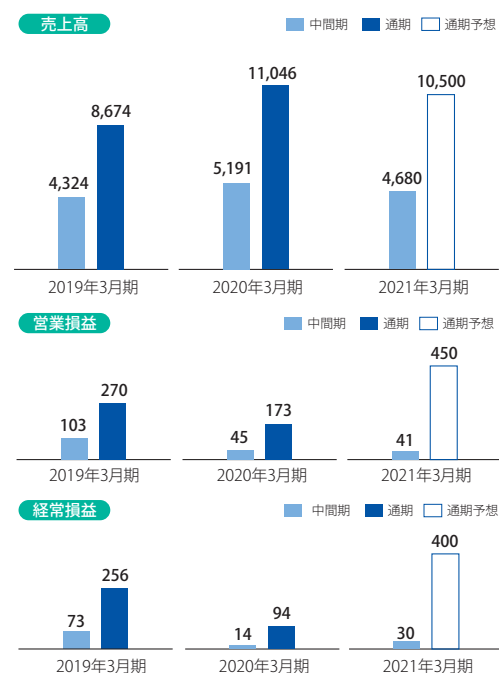
株主の皆様におかれましては、当社の取り組みにご理解をいただき、なお、一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 福永 健司

業績概要

◆ 第23期第2四半期連結累計期間（中間期）の業績 単位:百万円



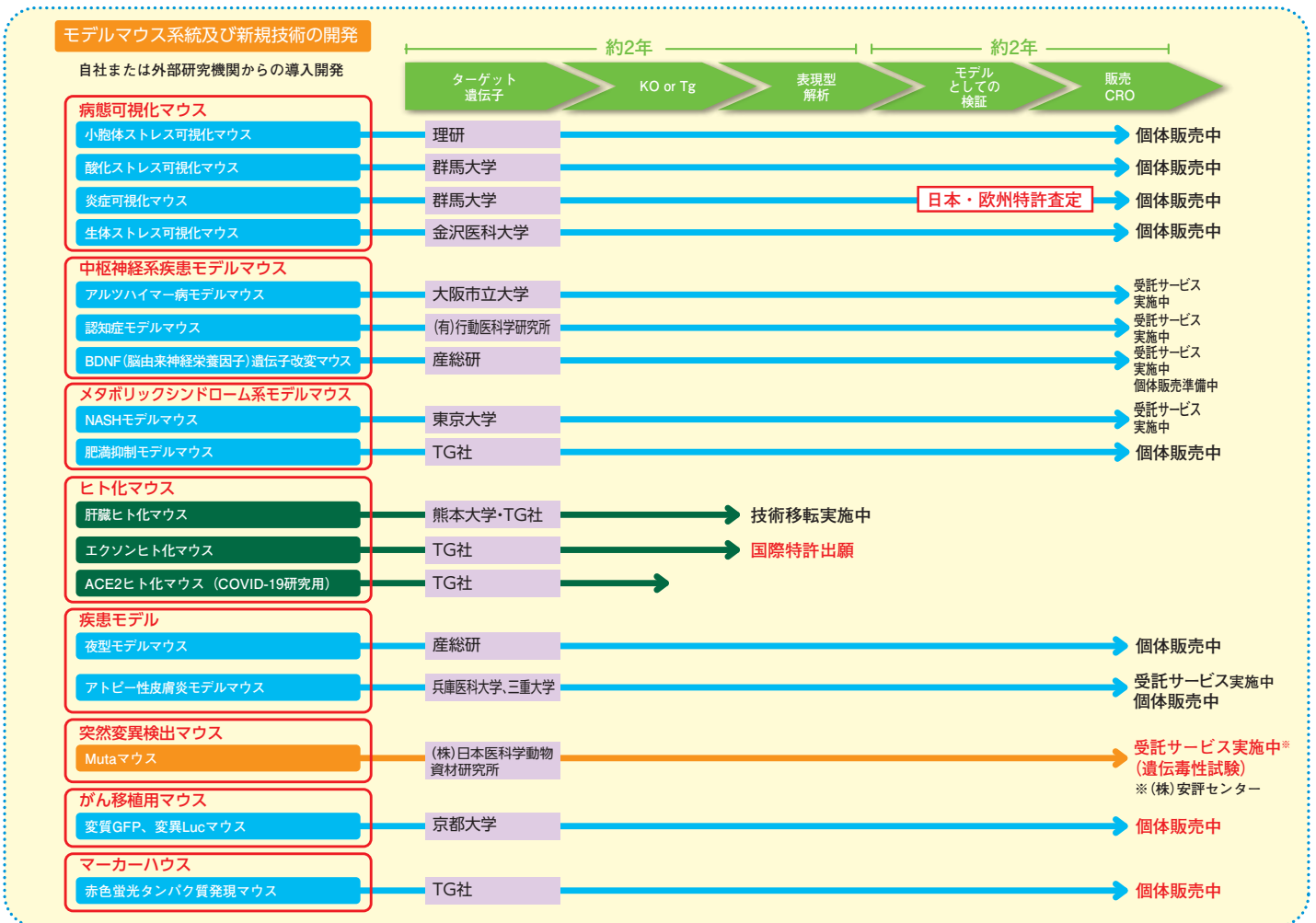
2021年3月期第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大により事業活動にとっては厳しい局面が生じましたが、顧客や従業員等の健康・安全確保や事業への影響を最小限に抑える対応を最優先としつつ、テレワーク体制導入など新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら事業活動の維持に努め、概ね全事業所において通常稼働を維持しました。

こうした事業環境のなか、創薬支援事業では、株式会社ジェネティックラボが札幌市及び北海道から新型コロナウイルス検査（PCR検査）の受託を開始しました。非臨床試験の受託では、株式会社安評センターが強みである農化学薬品等の安全性試験に加え、前期に大型動物飼育管理施設の整備を完了したことを受け、従来の中・小型動物に加え大型動物の非臨床試験の新規受注に注力しました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により非臨床試験が計画通り進まず、また臨床事業では被験者の募集及び試験実施が困難な状況が発生しました。TGBS事業では、Eコマース事業において新型コロナウイルス感染症拡大に伴う巣ごもり需要を意識した商品仕入れによる粗利の確保、仕入れ・出荷体制の維持に努めました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、創薬支援事業のPCR検査の受託売上やギャラックス貿易株式会社の売上が寄与したものの、株式会社TGM、株式会社アウトレットプラザの売上減少により、売上高4,680百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益41百万円（同10.3%減）となりました。しかし、前第2四半期連結累計期間に34百万円計上された買収関連費用が当第2四半期連結累計期間では22百万円の計上であったこと、持分法適用関連会社であった医化学創薬株式会社を2020年4月に連結子会社とし持分法による投資損失の計上がなくなったことなどから、経常利益は30百万円（同102.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25百万円（前年同期は41百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

◆研究開発状況

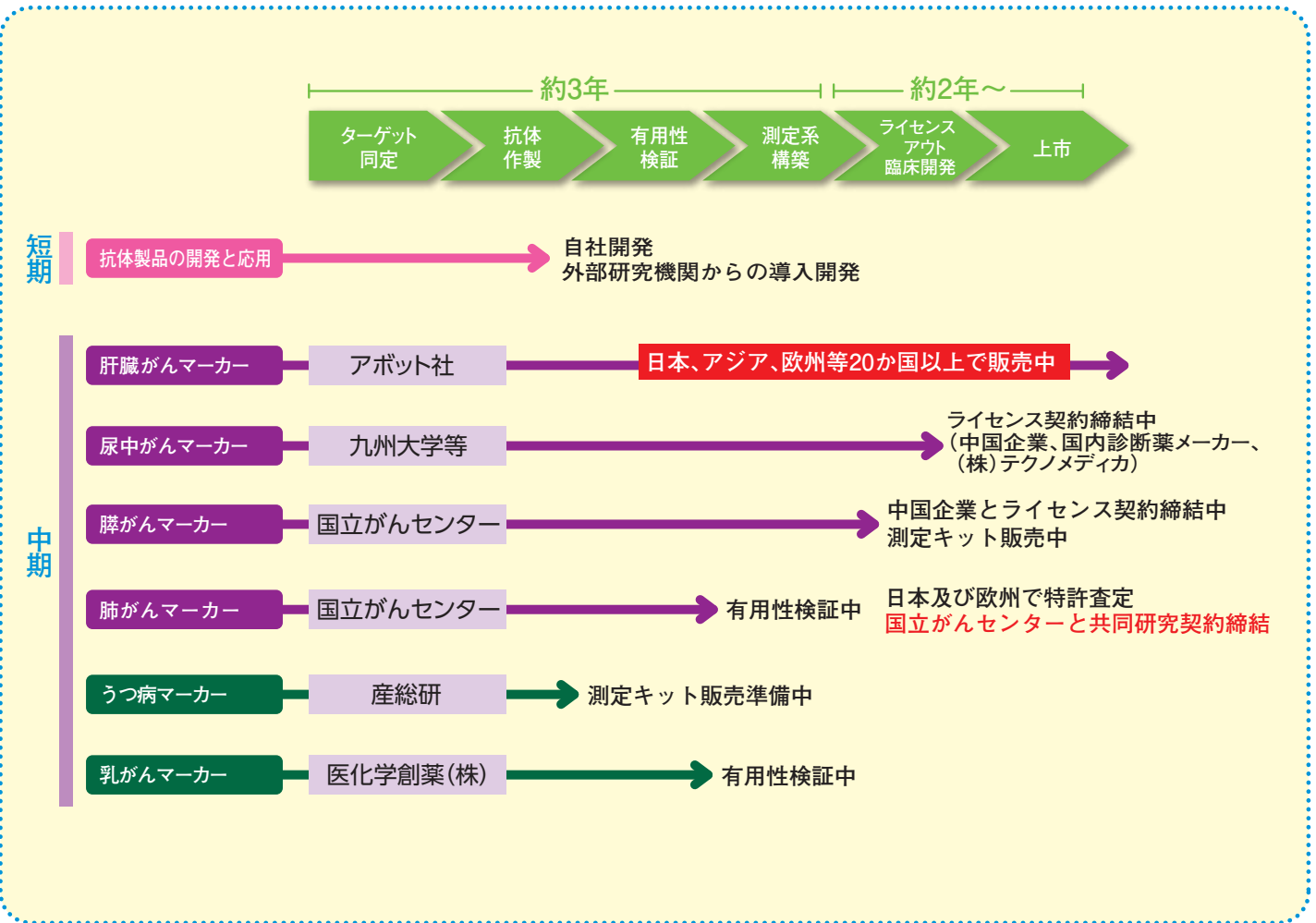
■モデルマウスの導入・開発状況



◆2021年3月期連結業績予想について

単位：百万円	2021年3月期 (通期予想)	2020年3月期 (実績)	増減	
			百万円	%
売上高	10,500	11,046	▲546	▲4.9%
創薬支援事業	3,200	2,795	404	14.5%
TGBS事業 (Eコマース) (その他)	7,320 (5,200) (2,120)	8,258 (5,333) (2,924)	▲938 (▲133) (▲804)	▲11.4% (▲2.5%) (▲27.5%)
本社・連結調整	▲20	▲7	▲12	—
営業費用	10,050	10,872	▲822	▲7.6%
営業利益	450	173	276	159.0%
経常利益	400	94	305	321.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	▲440	720	—

■開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬



(セグメント別の上半期実績と下半期予想)

	2021年3月期 第1四半期 (実績)		2021年3月期 第2四半期 (実績)		2021年3月期 下半期 (予想)	
	売上高 百万円	営業利益 百万円	売上高 百万円	営業利益 百万円	売上高 百万円	営業利益 百万円
創薬支援事業	452	▲91	773	94	1,974	396
TGBS事業	1,759	74	1,704	41	3,855	84
(Eコマース)	(1,325)	(67)	(1,217)	(41)	(2,657)	(60)
(その他)	(434)	(6)	(487)	(0)	(1,198)	(23)
本社・連結調整	▲4	▲35	▲4	▲42	▲10	▲72
合計	2,207	▲53	2,473	94	5,819	408

創薬支援事業につきましては、その売上高は下半期(特に第4四半期)に集中する傾向があることと、新型コロナウイルス検査(PCR検査)の受託件数が第2四半期以降伸びていることから、大幅な増収増益を予想しております。

TGBS事業のEコマース事業につきましては、上半期と同様に下半期においても消費低迷の影響を受け通期では減収を見込んでいるものの、粗利の大幅改善により、減収ながらも大幅な増益、その他事業につきましては景気低迷の影響を受けることを見込み減収減益を予想しております。これまで、経営基盤の強化及び安定性確保を目的としてコア事業である創薬支援事業の強化及び収益構造の多様化に努めてまいりましたが、その成果が具現化しつつあります。

この結果、当連結会計年度は対前期比及び創業来の大幅な増益を予想しております。

会社概要 2020年9月30日現在

会社名	株式会社トランスジェニック
設立	1998年4月
資本金	50百万円
従業員数	25名(単体) 255名(連結)
事業所	
本社	福岡県福岡市中央区天神二丁目3番36号
神戸研究所	兵庫県神戸市中央区港島南町七丁目1番地14
東京オフィス	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号

役員	
代表取締役社長	福永 健司
取締役	北島 俊一
取締役	山村 研一
取締役	船橋 泰
取締役	渡部 一夫
社外取締役	清藤 勉
常勤監査役	友永 良二
監査役	佐藤 貴夫
監査役	本坊 正文

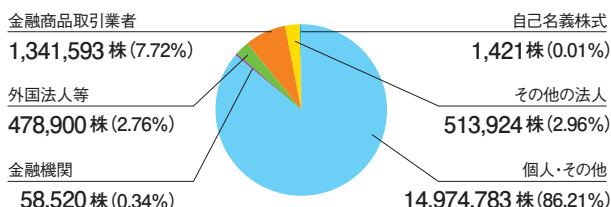
株式の状況 2020年9月30日現在

発行可能株式総数	43,630,100株
発行済株式の総数	17,369,141株
株主数	13,257名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	491,780	2.83
楽天証券株式会社	262,900	1.51
株式会社ムトウ	160,200	0.92
松井証券株式会社	145,900	0.83
福永 健司	120,800	0.69
原田 育生	120,100	0.69
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	116,900	0.67
マネックス証券株式会社	93,444	0.53
株式会社リムジンインタナショナル	92,900	0.53
水越 敦	83,000	0.47

所有者別株主分布状況



株主メモ

証券コード	2342
上場市場	東京証券取引所 マザーズ
上場年月日	2002年12月10日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

IRのお知らせ

最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールでお知らせしています。
ご登録は当社ホームページにて受け付けています。

<https://www.transgenic.co.jp/>

当社のIR活動についてご意見・ご感想をお聞かせください。
下記アドレスへのご連絡をお待ちしております

ir@transgenic.co.jp

